

1.調査目的等

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2.学校ごとの指標

・国語A, 数学Aを共に100以上にする。

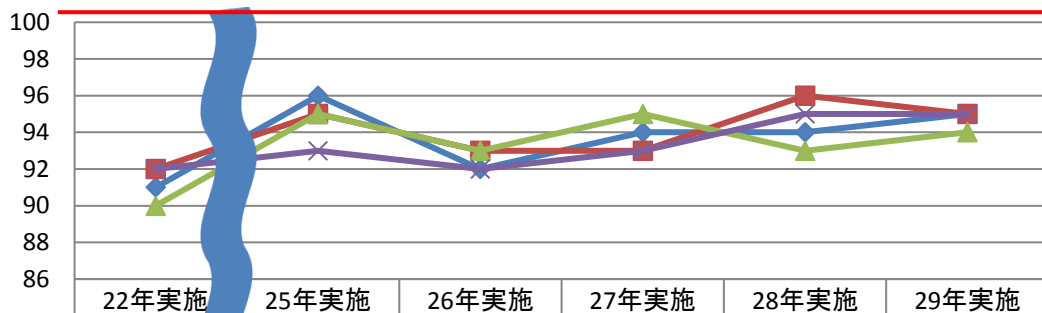
3.指標に向けての取組

・授業では、「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」をいつ、どこで使用するのかを年間指導計画や学力向上プランに明記させ、取組の達成度を短期の検証サイクルで確認する。
 ・家庭学習を定着させる取り組みでは、フォローアップシートを繰り返し活用したり、生徒の状況に応じた課題を用意したりするなど、個々の状況に応じて取り組める課題を用意して、定着を図る。

4.調査結果(全国の平均正答数を100とした標準化得点)

	国語A	国語B	数学A	数学B
本校	95	95	94	95
嘉麻市	96	95	94	95
全国	100	100	100	100

推移



	22年実施	25年実施	26年実施	27年実施	28年実施	29年実施
◆国語A	91	96	92	94	94	95
■国語B	92	95	93	93	96	95
▲数学A	90	95	93	95	93	94
×数学B	92	93	92	93	95	95

5.各学校における分析

・国語A、数学Aともに目標には至っていないが、昨年度よりも改善することができた。「基礎・基本を含む活用力を育む教材集」を家庭学習課題として活用したことが効果があったと考える。

・家庭学習の取組を学力向上プランや年間指導計画に明記したことで、取組が明確になり検証を行ったが、その場では理解できていても繰り返し学習する機会が少ないために、学んだ知識が剥落し、目標達成に至らなかったと考える。

・家庭学習の習慣について、改善してきているが、全国平均より10P程度の差があり、家庭学習の習慣化に課題があり、目標達成ができなかったと考える。

6.各学校における今後の取組

・「フォローアップシート」や「基礎・基本を含む活用力を育成する教材集」を引き続き、家庭学習の課題にするとともに、定期考査の問題として出題したり、授業でも繰り返し学習させることで基礎的・基本的な内容の定着を図る。

・家庭学習の習慣化を図るために、各教科で平日・休日の課題の内容を教務が集約するとともに、宿題の提出の徹底させる。

・「山田中家庭学習のすすめ」で示した家庭学習時間を達成させるために、生活ノートに毎日の学習時間を記録させ、目標達成していない生徒には、放課後学習を行うなど家庭と連携して改善を図るよう指導を行う。

・宿題の提出率や家庭学習を習慣化させるために、基礎と発展など個に応じた課題を複数用意する。

・家庭学習の習慣化を図るために、家庭学習のやり方について小学校との連携を図る。

7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

嘉麻市学力向上プランに設定した「家庭学習」を推進する。そのために、「家庭学習のすすめ」を活用した指導を徹底させるとともに、「家庭学習のすすめ」を児童・生徒の全家庭に配付し、家庭への啓発を行う。また、個の学習課題に応じるため、週末課題の個別化を推進する。

基礎基本の徹底を図るための環境を整備する。そのために、形成的評価を強化する。また、評価後の習熟度別指導を充実させるよう指導する。さらに、長期休業中及び放課後等における補充学習、個に応じた学習を支援する。